

研究協力者の募集について

近年、特別支援学校では、児童生徒の重度・重複化や障害の多様性に対応する教員の専門性向上を目的に医療・福祉職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等)を中心とする外部専門家の派遣事業が導入されています。

外部専門家の一職種として関わってきた言語聴覚士の主な業務は、児童生徒の言語・コミュニケーション能力を言語発達検査などで把握した後、教育活動に活用が可能な助言を教員に行うことであり、これは「間接的介入」と位置づけられています。

本研究では、教員に対して使用する「間接的介入モデル」*を作成するために、以下の研究方法にご賛同及びご協力いただける言語聴覚士の方を募集します。

尚、本研究は、国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認を得て行なうものです(承認番号:21-1g-235)。この計画に参加されなくても不利益を受けることは一切ありません。

ご理解、ご賛同いただける場合は、本研究にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※「間接的介入モデル」:言語聴覚士が外部専門家として特別支援学校の教員に対して行う助言・指導(「間接的介入」)が、その後の教員のコミュニケーション行動や教育活動への効果検証するための教員評価(学習)動画。児の言語検査場面をもとに作成し、検査場面での言語聴覚士と児のやり取りや結果の解釈について解説をつけたもの。

1. 研究課題名

外部専門家である言語聴覚士が肢体不自由特別支援学校教員に行う間接的介入に関する検証～言語聴覚士の合意調査による介入モデルの立案～

2. 目的

言語聴覚士の間接的介入モデル(肢体不自由児に対して言語聴覚士が言語発達検査を行い、その結果をまとめた「解説ビデオ」を肢体不自由特別支援学校教員が閲覧すること)に使用する「解説ビデオ」を、外部専門家経験を有する言語聴覚士の合意調査を行いながら作成します。なお、本研究で作成した「解説ビデオ」を用いた後続研究(特別支援教育教員に対する言語聴覚士の「間接的介入モデル」の検討)を予定しております。

3. 研究の方法

【研究の全体像】

1) 研究実施代表者が以下の2場面を録画し、ビデオを作成します。

- ① 研究協力者である肢体不自由児(小学生1名、中学生1名、計2名)が家族と関わる場面(20分程度)
- ② 研究協力者の肢体不自由児2名に対し、研究実施代表者である言語聴覚士が言語発達検査(国リハ式〈S-S法〉言語発達遅滞検査のうち、4下位項目;事物名称16語絵カード、動作語、大小、色、語連鎖)を実施している場面

2) 研究実施代表者が②のS-S法実施ビデオに検査結果の解説をつけた30分の解説ビデオ案を作成します。

3) 解説ビデオ案を50名の外部専門家経験を有する言語聴覚士が閲覧し、肢体不自由特別支援学校教員が対象児の言語・コミュニケーション能力を適切に理解するための「解説ビデオ」を作成します。

※今回ご依頼する内容は、上記3)に該当します。

解説ビデオ案の解説内容について、アンケート調査を行います。本アンケートは、応募条件に該当する言語聴覚士50名の合意形成ができるまで、複数回行う予定です。解説ビデオ案の視聴とアンケート回答のご協力をお願いいたします。初回は解説ビデオ案の視聴に1時間、アンケート回答に15分程度を要します。それ以降は、合意形成が得られた解説ビデオ案は省かれますので、視聴と回答時間は短くなります。

4. 応募条件

1年以上の外部専門家経験を有する言語聴覚士の方。言語聴覚士の経験年数、外部専門家を務める学校種別(知的障害、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、病弱等)は問いません。

上記に該当する方で、本研究の主旨にご理解いただける方は、下記までご連絡ください。なお、予定人数(50名)に達し次第募集を終了いたします。

5. 実施期間(あくまで予定です。合意形成がなされた時点で終了します)

令和4年7月～8月

6. 同意の取得について

本研究に参加の意思を表明した方において、口頭ならびに文書にて説明いたします。ご理解いただいた方は、同意書の提出をもって研究参加に同意をしたとみなします。同意はいつでも撤回可能です。その場合は同意撤回書にサインのうえ、研究代表者にお送りください。

尚、研究協力者である肢体不自由児とその家族、肢体不自由児と研究実施代表者が所属する協力施設においても口頭ならびに文書にて説明し、同意を得ています。

7. 実施場所

オンラインにて実施します。Wi-Fi やメールの通信費などは研究参加者のご負担となりますこと、ご了承ください。

8. 個人情報の保護

提供された情報は、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。なお、この研究で得られた情報は、研究終了後に全て廃棄します。この研究で得られた情報が、本研究の目的以外に使用されることはありません。

9. 利益相反

本研究において、利益相反は一切ありません。

問い合わせ先:

国際医療福祉大学大学院 教授 畦上 恭彦

電話番号: 0287-24-3178

Mail: yasuhiko@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学 医療福祉学研究科 博士課程 保健医療学 言語聴覚分野(領域: 言語障害学領域)

木下 亜紀

Mail: 21s3011@g.iuhw.ac.jp

以上